

めでいかすとり Médicastre

一般社団法人
鶴岡地区医師会
基本理念

鶴岡地区医師会は、地域住民の健康維持・増進と健やかな長寿社会の実現のために地域に貢献するとともに、医の心を忘れず知識と技術の向上をめざし、不断の研鑽に励みながら日々前進する組織をめざします。



「龍神の如く雲は映え、夏の夕陽が沈む ～明日への架け橋～」

鶴岡地区医師会

令和 7 年 9 月号

病院勤務医と医師会会員との懇談会

日時：令和 7 年 7 月 18 日(金) 19:00～

場所：東京第一ホテル鶴岡



鶴岡地区医師会主催の標記懇談会が、令和 7 年 7 月 18 日(金)、東京第一ホテル鶴岡で、42名の参加者（病院勤務医19名、会員18名、職員その他 5 名）が集い開催された。福原晶子医師会長のご挨拶のあと、話題提供として、新庄内保健所長の森福治先生によるご講演が「保健所と健康危機管理」をテーマに行われた。内容は、①保健所の業務と役割、②健康危機管理についてで、森先生が前任地の村山保健所時代に取り組まれたお仕事について具体例を挙げ説明していただいた。すなわち、1) COVID-19や鳥インフルエンザなどの感染症対策、2) 仕出し弁当のノロウイルスや馬刺しのO-157による食中毒事例への対応、3) 能登半島地震の際、行政とDMATを有機的につなぐ機能を持つDHEATのメンバーとして現地に赴いた経験や、医療的ケア児の避難計画の作成支援など、自然災害時の対応の重要性についてわかりやすくお話しいただいた。引き続き行われた懇親会では、五十嵐裕一荘内病院副院長の乾杯のご発声のあと、勤務医等の挨拶と荘内病院研修医の紹介が行われた。今年度から湯田川温泉リハビリテーション病院に赴任された佐藤和彦先生（元荘内病院副院長）、荘内病院を退職され自宅会員になられた坂本純先生（眼科）、そして新たに医師会員になられた荘内病院の山木哲先生（脳外科）と島田哲也先生（外科）からそれぞれご挨拶をいただいたのち、荘内病院の初期研修医 7 名（2 名欠席）のフレッシュでユーモアあふれ、かつ物おじしない自己紹介で会場は大いに盛り上がった。今年の懇談会参加者は昨年の36名から 6 名増の大人数に、さらにおいしいお酒と料理が加わり、勤務医と医師会会員の親睦が例年以上に深められた有意義な会となった。

勤務医委員会委員長 鈴木 聡



* * * * *

保健所と健康危機管理

山形県庄内総合支庁 保健福祉環境部 医療監(兼)庄内保健所長
森 福治



保健所は、感染症のまん延防止、災害時の公衆衛生確保、大規模食中毒の対応などの健康危機管理業務を通じて、地域住民の健康と安全を守る重要な役割を担っている。これらの業務は、「地域保健法」、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法）、「食品衛生法」、「災害対策基本法」などの法的根拠に基づいて行われる。

感染症対応では感染症法に基づき、患者発見、疫学調査、感染拡大防止措置を実施する義務がある。新型コロナウイルス感染症の流行時には、届出の受理や感染経路調査、濃厚接触者の健康観察、感染対策指導などを行った。医療機関や福祉施設における集団発生（クラスター）発生時は、クラスター収束に向けた関係機関の総合調整を実施した。

食中毒発生時は、食品衛生法に基づき保健所が原因調査、原因食品の回収指導、衛生指導を行う。O-157やノロウイルス等による集団食中毒事例が疑われる場合は、迅速な発症状況調査と食品検査により原因を特定し、食中毒の拡大を防ぎ再発防止策を指導する。

近年、大規模災害時における避難所の衛生管理や感染症のまん延防止、要配慮者の把握、支援チームの調整などを通じて、被災地における災害関連死を防ぐということが保健所に求められる重要な役割の一つとなっている。能登半島地震では、保健所職員で構成される災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）が、石川県庁や各保健所に設置された保健医療福祉調整本部に派遣され、他都道府県から派遣されたさまざまな支援チームが効率的に活動できるようにするため、自治体や地域の医療機関、福祉施設等と連携し、被災者に関する情報収集と分析、総合調整を行った。

新型コロナウイルス感染症への対応と教訓から、地域保健法や感染症法が改正され、保健所はこれまで以上に地域の健康危機に対応するための連携拠点となることが求められるようになった。新興感染症や災害発生時に住民の生命を守るためには、平時における地域の関係機関との連携（顔の見える関係）が重要である。災害や感染症などの健康危機が発生した際に、住民の健康被害を最小とするため、平時から庄内地域全体で連携を深めておく必要がある。



鶴岡地区医師会勉強会抄録

日時：令和 7 年 9 月 12 日(金) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3 階講堂

『高度肥満症に対する減量・代謝改善手術』

地方独立行政法人 東京都立病院機構
東京都立多摩総合医療センター 消化器・一般外科
畑尾 史彦 先生

要旨：内科的治療に抵抗性の高度肥満症は、海外では外科手術が標準的治療となっています。米国では1991年に“BMI 35kg/m²以上かつ肥満関連疾患の合併を伴う患者には外科的治療を考慮する”というコンセンサスが公表されました。さらに腹腔鏡下手術が開発されて安全性が向上した2000年代以降は手術数が爆発的に増加し、大規模かつ長期にわたる臨床研究で外科的治療の有用性について多数報告されています。

肥満症の外科的治療は、減量効果に加えて糖尿病をはじめとする代謝性疾患の改善にも大きく貢献することが示され、従来の“減量手術 bariatric surgery”から現在は“減量・代謝改善手術 metabolic and bariatric surgery”と改称しています。

日本でも肥満症の有病率上昇から外科手術の必要性が高まり、2014年に減量・代謝改善手術である腹腔鏡下スリーブ状胃切徐術が保険適応となりました。

当初はBMI 35kg/m²以上かつ糖尿病、脂質異常症、高血圧症のいずれかを合併とする患者が対象とされました。その後改訂を繰り返し、現在は睡眠時無呼吸症候群と非アルコール性脂肪肝疾患が適応疾患に追加されました。さらにBMI 32kg/m²以上でも上記 5 疾患が 2 つ以上ある場合は対象となります。また、2024年からBMI 35kg/m²以上かつ糖尿病を合併する場合には腹腔鏡下スリーブバイパス術が保険適応となりました。

ただし高度肥満患者を対象とした手術なので、安全な施術のためには経験のある外科医の常勤が在籍しているなど、厳しい施設要件も規

定されており、実施できる施設は全国でも限られているのが現状です。

また、最近になってGLP-1/GIP受容体作動薬など減量効果の高い糖尿病治療薬が開発され、さらに要件を満たす肥満症には同薬が糖尿病の有無に関わらず保険適応となるなど、肥満症治療は大きな転換期を迎えています。

講演では本治療の概要と当院における取り組み、国内外の現状と課題などについて紹介します。

■ご略歴紹介

- 1994 山形大学医学部医学科 卒業
- 1994 東京女子医科大学 救命救急科 研修医
- 1996 東京大学医学部附属病院分院 外科、青梅市立総合病院 外科 ほか
- 2001 東京大学大学院 医学系研究科 臓器病態外科
- 2005 東京大学医学部附属病院 胃食道外科 助教, 特任講師
- 2012 現職

■資格等

- 医学博士
- 日本外科学会 指導医・専門医
- 日本消化器外科学会 指導医・専門医
- 日本内視鏡外科学会 技術認定医(胃)
- 日本栄養治療学会(JSPEN) 代議員, 認定医, 肥満栄養治療WG
- 日本肥満症治療学会 評議員
- 日本肥満学会 評議員, 肥満症治療指導医・専門医



第31回 医師会納涼ビアパーティー

日時：令和 7 年 8 月 1 日(金) 19:00～
場所：グランド エル・サン

8 月 1 日(金)にグランドエル・サンにて恒例の医師会納涼ビアパーティーを開催し、会員・職員合わせて 207 名の方にご参加いただきました。

今回は、開場とともに美味しい料理の提供もスタートし、談笑が弾む中、福原晶子会長のご挨拶と保険福祉委員である三浦道治先生の乾杯のご発声により開宴となりました。

今回の余興は、湯田川温泉リハビリテーション病院の新人職員＆有志による出し物と、数年ぶりとなる抽選会です。湯田川病院の余興では、サザエさん一家に扮した皆さんが、武田憲夫院長に一瞬で変身するという、ユーモアあふれるパフォーマンスを披露してくださいました。佐藤和彦先生や佐藤豊事務部長をはじめ、皆さんの楽しいステージに会場は大いに盛り上がりしました。

抽選会では、15 種類の景品の中から好きなものを 1 つ選んで抽選する形式で行いました。当選者が発表されるたびに歓声と拍手が沸き起こり、喜びを隠せない当選者の笑顔がとても印象的でした。そして、いよいよ目玉商品の JTB 旅行券 4 万円の発表の時、会場が固唾をのんで見守る中、見事当選されたのは、吉田宏先生でした。本当におめでとうございます！

エンディングでは、昨年に引き続き「サライ」を合唱し、会場が一体感に包まれました。最後は石原良副会長より閉会のご挨拶をいただき、盛況のうちに閉会となりました。

日々の業務の疲れを忘れ、美味しいお料理と余興でリフレッシュしていただけたなら幸いです。今年参加できなかった方も来年はぜひ参加いただき、会員・職員みんなで楽しい時間を共有しましょう。

実行委員長 今野 加奈子





令和7年4月1日より湯田川温泉リハビリテーション病院に配属となり、今回初めて医師会納涼ビアパーティーに参加させていただきました。湯田川温泉リハビリテーション病院の新入職員は医師1名・事務部長1名・看護師2名の計4名と少なく、不安もあったため余興人数を増やすために他職員に声かけを行い、介護福祉士1名・医事課1名・リハビリテーション課1名の協力を得て、計7名で余興をさせていただきました。

余興ではどの世代にも知られていて皆さんが楽しめるサザエさんのオープニング曲で入場し、エンディング曲で踊りを披露することにしました。当初、サザエさん一家のお面を使用し踊りを終えることを考えていたのですが、何か工夫はできないかと案を出し合い、武田憲夫院長の御顔と、福原晶子会長の御顔をお面にし、音楽に合わせて観客に見せるということになりました。

所属部署が各々違うということもあり、中々全員で練習することはできませんでしたが、業務終了後に集まれる職員同士で練習を行いました。ビアパーティー当日、早めに集合し全員で最終確認として音楽に合わせて練習することができ、本番を迎えることができました。本番ではちょっとしたハプニングはありましたが、ビアパーティーに参加していただいた皆様が余興を盛り上げてくれたこともあり楽しく終えることができました。会長・院長の御顔をお面にしたこともあり、余興中の一番の盛り上がりはお面を変えた瞬間だったと思います。

余興を行うことで多職種同士コミュニケーションをとり、交流を図ることができました。ビアパーティーを企画・運営していただいた実行委員の皆様ありがとうございました。

湯田川温泉リハビリテーション病院 看護課 岡住 琴彩

YBCラジオ「ドクターアドバイスで きょうも元気」ラジオ出演体験記

	放 送 日	出 演 者	テ ー マ
1	8 月 11 日～ 8 月 15 日	鶴岡市立荘内病院 五十嵐 裕一 先生	赤ちゃんが元気に生まれてくるために たいせつなこと
2	8 月 18 日～ 8 月 22 日	真島医院 真島 英太 先生	尿や便などの排泄障害
3	8 月 25 日～ 8 月 29 日	三川病院 島田 高志 先生	夢について
4	9 月 1 日～ 9 月 5 日	山形県立こころの医療センター 須貝 孝一 先生	山形県立こころの医療センター10周年、 医療観察法病棟医10年目を迎えて ～こころの医療センター、医療観察法のこれから～

今年度は4名の先生方よりご出演いただきました。ご協力いただきありがとうございました。
9月号では、2名の先生よりご執筆いただいた「体験記」をご紹介します。

●YBCラジオ番組「ドクターアドバイスできょうも元気！」収録に参加して

真島医院 真島 英太

先日、YBCラジオの長寿番組「ドクターアドバイスできょうも元気！」に出演させていただく貴重な機会をいただきました。今回のテーマは「排泄障害」。多くの方が悩みを抱えながらも、なかなか口にしづらい分野です。

限られた放送時間の中で、頻尿や便秘といった身近な症状の定義から、専門的な検査、最新の治療法までを、いかに分かりやすくお伝えするかという点に苦労しましたが、アナウンサーの方の巧みな進行に助けられ、「回数や定義はあくまで目安であり、ご本人が生活に支障を感じているかが重要」という、最も伝えなかったメッセージをしっかりと話しできたと感じています。

収録では、医療情報だけでなく、自身の経歴や庄内地方への想いに加え、コロナ禍の巣ごもりを機に再燃したPC自作や、YouTubeでの音楽鑑賞といった趣味の話にも及び、思いがけず話が弾みました。専門家としてだけでなく一人の人間としてリスナーの皆様に語りかけるこ

とで、少しでも医療を身近に感じ、安心して相談できるきっかけになればと願っております。

日々の診療とはまた違う形で地域社会に貢献できる、非常に有意義な時間でした。普段の診察室では伝えきれない想いや情報を、電波を通じて一度に多くの方へ届けられるのは、非常に楽しい時間でした。先生方にも、このようなメディアを通じた情報発信の機会に、ぜひ積極的に参加されることをお勧めいたします。新たな発見とやりがいに満ちた、素晴らしい経験になるはずです。



・YBCドクターアドバイス収録記

鶴岡市立荘内病院 産婦人科 五十嵐 裕一

地域医療連携室会議で八木実病院事業管理者から「ラジオ番組のドクターアドバイスの出演依頼が来ているから荘内病院の新しい取り組みや診療の話をしてみてはどうか」とお誘いがあったのがきっかけでした。おりしも、山形県の人口が100万人を割り込んだ2024年1年間に、山形県で生まれた赤ちゃんは4,699人で20年足らずで半分以下になったというニュースがありました。当院は庄内唯一の周産期母子医療センターですので、荘内病院の広報にもなればとお引き受けしました。テーマは「赤ちゃんが元気に生まれてくるためにたいせつなこと」としました。少子化が社会問題としても話題になりますが、いろいろな価値観がある時代ですので、内容には少し注意を払ったつもりです。

収録は7月28日(月)37度と猛暑日の山形市で、午後1時から始まりました。加藤研ディレクターと佐々木陶子アナウンサーの3人で、初めに20分くらいの打ち合わせがありました。言いよどんだり噛んだりしたときに自動的に修復してくれるAIソフトがあると聞いたことがあります。YBCではすでに導入されているのですかとお尋ねしたところ、え？そんないいものがあるんですかと佐々木アナウンサーから逆に聞き返されました。佐々木アナウンサーはこの4月にYBCに入局した若手のアナウンサー(元ミス花笠とのこと)です。いったん収録が始まるとスイッチが入って声質が別人になり、さすがはプロでした。収録は2時間半くらいで終わりますよと気軽に言われましたが、噛む噛む、月曜日の分は最初からやり直しました。加藤ディレクターは私と同年で、話に出てくる幼少時の蚊帳や豚の蚊取り線香など懐かしがったり、夏向けのいい選曲だとはめてくれたり、私がリラックスできるように場をなごませてくれました。

毎回の後半のフリートークで、あるエピソードを話しました。手術の手伝いに来てくれたある出張医に、「先生とは34年ぶりの再会です。僕の母子手帳に先生の名前があります。」と言われました。確かに出産に立ち会ったのは私でした。今まではお母さんに、「先生に取り上げてもらった子がこんなに大きくなりました。」と抱っこさせてもらうようなことはありましたが、本人が自ら名のってくれたのは初めてでした。こんなに立派になって、そして産婦人科医になってくれてとても嬉しかったです。彼もこの先何十年後かに同じような経験をしてくれ

ば、もっと嬉しいですというような内容です。産婦人科医を長くやっているとこんないいことがあるんだよと、そして同業者へのエールにもなると思い、このラジオの話をいただいたときにぜひ入れようと思っていたエピソードです。

そして、周産期医療を支えているのは小児科・とくに新生児科のドクターの力がとても大きいということも話しました。出産は突然予測不能なことが起こりうるもので、赤ちゃんが具合が悪く生まれてくることがどうしてもあって、それに対処してくれるのは新生児科医です。私たち産婦人科医は新生児科の先生方にとっても感謝していること、山形県は新生児科の医師が少なく、文字通り有難い存在であることを強調してきました。

最終日はわが荘内病院の話題に終始しました。4月に救急・集中治療科が加わったこと、荘内病院内で看護師のサポートを受けながらがん研究センター東病院の専門医にオンラインでセカンドオピニオンを受けられる「おんらいんがん相談外来」が6月から始まったことなどを案内しました。さらに、「庄内プロジェクト」のもと鶴岡地区医師会の皆さんとも連携して緩和ケアの普及に取り組んでいること、その市民公開講座は、今年は11月15日に三川町のなの花ホールで開かれ、講師として歌手の麻倉未稀さんがご自分の経験も踏まえてお話いただくことを紹介し、最後の曲は麻倉未稀さんの『ヒーロー』で締めくくりました。収録が全部終わったのは午後5時でした。

決してハキハキした声ではなく、最近とみに活舌が悪くなってきたと自覚はしていましたが、最後まで聞いてくださった皆様、ありがとうございました。



佐々木陶子アナウンサーと
(加藤研ディレクターが撮ってくれました)

Introduction

研修医



お世話になっております。今年 4 月から鶴岡市立荘内病院で研修しております、荒井嶺織（あらいねお）と申します。私は茨城県古河市出身で、大学院修了後 IT 関連の企業で 4 年

弱働き、改めて昔からの夢であった医師を志して新潟大学で学びました。今はここ鶴岡市で医療に携われる喜びを感じつつ、充実した日々を過ごしています。

私の趣味はスポーツ観戦とランニングです。スポーツ観戦に関しては特に野球やサッカーの試合を観るのが好きです。野球は元々好きで、私自身中学の時にやっていましたが、ボールの投げ方があまりに悪かったために右肘を骨折した経験があります。その治療の経験から医師への憧れを持つようになりました。ちなみに私が最初に鶴岡を知ったきっかけは、夏の甲子園で鶴岡東高校の試合を観たことです。プロ野球ではベ이스ターズが推しのチームです。サッカーは J リーグが好きで、縁のある地のチームを応援するようにしています。地元茨城の鹿島アントラーズだけでなく、アルビレックス新潟も応援していますしモンテディオ山形も今年から注目しています。ランニングは昨年から本格的に行うようになった趣味です。昨年秋には思い切って人生初のフルマラソン（新潟シティマラソン）に参加し、途中リタイアする誘惑に何度も駆られつつ何とか完走できました。最近はやや疲労を恐れて走っていなかったのですが、7 月から少しずつ走り始めています。走ると鶴岡市内の空気が本当に美味しく、自然を満喫できることを実感します。今後は鶴岡公園や内川沿い、

鶴岡市立荘内病院臨床研修医 1 年目 ^{あらい}荒井 ^{ねお}嶺織

赤川の堤防など、お気に入りコースを開拓したいと思います。まずは山形県内のハーフマラソン完走を目標に楽しんで走りたいです。

荘内病院に勤務して思うこととしては、第一にスタッフの皆様が鶴岡市・庄内地域の医療に貢献すべく、一丸となっておられるということです。事前に伺っていたことですが、やはり救急外来をはじめ、たくさんの患者さんが来院されていることを実感します。限られた医療資源の中で皆様一人一人が努力されている環境の中で研修することは、これからの人生で必ず役立つと確信しています。診療・手技の経験をこの 2 年間でたくさん積み、一日も早く一人前の医師となれるように、また鶴岡市の医療に微力ながら貢献できるように努めたいと思います。第二に病院のスタッフの皆様が本当に温かいということです。分からないことや失敗してご迷惑をおかけすることがしばしばありますが、指導医の先生方だけでなく、看護師や薬剤師などスタッフの皆様からも親身に教えて頂く機会があります。第三に、患者さんからも教えて頂くことが多いということです。複雑な背景を持つ方、複数の疾患に罹患している方など一筋縄ではいかない症例が多いと感じています。患者さんの状態が少しでも改善するよう尽力すべく、個々の患者さんとのコミュニケーションを通じて謙虚かつ積極的に学ぶ姿勢を持ち続けたいと思います。

末筆となりますが、病院の先生方、スタッフの皆様、医師会の皆様に今後ともお世話になる機会が多いと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。一つ一つのご縁を大切に日々精進してまいります。

医師会ニューフェイス

①氏名(採用日) ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと



- ① 佐藤 千穂 (令和7年8月1日採用)
 ② 在宅サービスセンター
 訪問看護ステーションハローナース
 看護師
 ③ 子供と浜辺を散歩すること。散歩を
 しながら虫や海の生物を探し回ります。
 岩場でのカニつりが上達しました。
 ④ お世話になります。よろしく
 お願いします。



- ① 成田 有孝 (令和7年8月21日採用)
 ② 荘内地区健康管理センター
 事業推進課 一般職
 ③ ドライブ
 ④ 皆さまのお役に立てるよう一
 生懸命頑張ります。よろしくお
 願いいたします。



- ① 小松 鉄兵 (令和7年8月21日採用)
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 看護課 介護福祉士
 ③ 音楽鑑賞、ゲーム、キャンプ
 ④ 新しい環境で緊張もありますが、一日も早く仕事を覚え、皆さ
 まの力になれるよう頑張ります。



- ① 齋藤 美咲 (令和7年9月1日採用)
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 看護課 看護師
 ③ 料理、ドライブ
 ④ これまでの経験を活かしなが
 ら、さらに精進していきたいと思
 います。よろしくお願いします。

7 月・8 月 行事表

7 月 8 日 庄内南部地域連携パス推進協議会全体会
 9 日 県医第 4 回常任理事会
 “ 食支援フォーラム第 3 回準備会議
 “ 緩和ケア症例検討会
 11 日 鶴岡市健康福祉部との懇談会
 14 日 鶴岡市予防接種対策委員会
 “ 整形外科症例検討会
 17 日 産業医学研修会
 18 日 病院勤務医と医師会会員との懇談会
 23 日 県医師信用組合理事会
 “ 県医第 4 回全理事会
 “ 鶴岡市介護認定審査会委員 現任研修会
 “ 職員採用面接試験
 “ 庄内PJ運営委員会
 24 日 総務委員会
 25 日 鶴岡地域産業保健センター運営協議会
 28 日 定例理事会
 30 日 1 か月児・5 歳児健康診査実施に向
 けの説明会・意見交換会
 “ 地域医療課題検討委員会
 “ 三川町障害支援区分認定審査会

8 月 1 日 納涼ビアパーティー
 2 日 県医母体保護法指定医師研修会
 5 日 鶴岡市介護保険運営協議会・地域包括
 支援センター運営協議会
 “ 鶴岡市乳幼児健診関係者連携会議
 6 日 鶴岡市国民健康保険運営協議会
 “ 県医第 5 回常任理事会
 “ 県医学術委員会
 7 日 庄内 AMR 等対策ネットワーク コア
 メンバー会議
 “ 学術広報委員会
 8 日 食支援フォーラム第 4 回準備会議
 19 日 職員採用面接試験
 20 日 第 3 回健診システム選定委員会
 21 日 県医産業医委員会
 23 日 庄内地域医療情報ネットワーク研究会
 25 日 定例理事会
 27 日 県医師信用組合理事会
 “ 県医第 5 回全理事会
 28 日 職員採用面接試験
 “ 鶴岡 MIRAI Forum
 30 日 全国医師会共同利用施設総会 (～31 日)

令和 7 年度 第 4 回 定 例 理 事 会

(令和 7 年 7 月 28 日)

出席者 会 長：福原晶子
副 会 長：石原 良 菅原真樹
理 事：武田憲夫 三原一郎 蘆野吉和 本田 学 吉田 宏
岡田恒人 鈴木 聡 三浦道治 渡邊秀平 中目哲平
監 事：阿部周市 木根淵智子 真島英太
議 長：堀内隆三
副 議 長：三井卓弥
事 務 局：土屋清光 五十嵐亜希 難波 崇 遠藤貴恵

報 告

- (1) 県医第 3 回全理事会、第 4 回全理事会について（阿部監事）
6 月 25 日(木) 15：30 県医師会館／オンライン開催
7 月 23 日(木) 15：30 県医師会館／オンライン開催
- (2) 県医第 4 回常任理事会について（鈴木理事）
7 月 9 日(木) 15：30 県医師会館／オンライン開催
- (3) 鶴岡地区休日夜間診療協議会定時総会・理事会について（菅原副会長）
6 月 24 日(火) 13：00 鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる
- (4) 荘内病院地域医療連携推進協議会について（福原会長）
6 月 24 日(火) 19：00 荘内病院
- (5) 医師会勉強会について（菅原副会長）
6 月 26 日(木) 19：00 講堂／オンライン開催
- (6) 庄内医療情報ネットワーク協議会について（福原会長）
6 月 30 日(月) 19：00 オンライン開催
- (7) 鶴岡市健康福祉部との懇談会について（福原会長）
7 月 11 日(金) 19：00 会議室
- (8) 鶴岡市予防接種対策委員会について（菅原副会長）
7 月 14 日(月) 19：00 鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる
- (9) 病院勤務医と医師会会員との懇談会について（鈴木理事）
7 月 18 日(金) 19：00 東京第一ホテル鶴岡
- (10) 鶴岡地域産業保健センター運営協議会について（福原会長）
7 月 25 日(金) 13：30 会議室
- (11) 職員の退職について（三浦理事）
- (12) 令和 7 年 6 月期事業会計収入実績について（参考）
- (13) その他
・地域包括ケアパスについて（鈴木理事）

協 議

- (1) 用度委員会小委員会について（三浦理事）
7 月 23 日(木) 13：30 会議室

(2) 職員の採用および募集人数の変更について（三浦理事）

- ・職員採用面接試験

7月23日(水) 18:30 会議室

- ・募集人数の変更

(3) 総務委員会について（菅原副会長）

7月24日(木) 19:00 会議室

(4) 後援の依頼について（事務局）

(5) 固定資産の処分について（事務局）

(6) 健康サポート薬局の連携依頼について（事務局）

令和7年度 第5回定例理事会

（令和7年8月25日）

出席者 会 長：福原晶子
 副 会 長：石原 良 菅原真樹
 理 事：武田憲夫 三原一郎 蘆野吉和 本田 学 吉田 宏
 岡田恒人 鈴木 聡 三浦道治 渡邊秀平 中目哲平
 監 事：阿部周市 木根淵智子 真島英太
 議 長：堀内隆三
 副 議 長：三井卓弥
 事 務 局：土屋清光 五十嵐亜希 工藤由美 佐藤洋介

報 告

(1) 県医第5回常任理事会について（鈴木理事）

8月6日(水) 15:30 県医師会館／オンライン開催

(2) 地域医療課題検討委員会について（菅原副会長）

7月30日(水) 19:00 会議室

(3) 鶴岡市介護保険運営協議会並びに鶴岡市地域包括支援センター運営協議会について（福原会長）

8月5日(火) 13:00 鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる

(4) 県医学術委員会について（菅原副会長）

8月6日(水) 18:30 医師会館／オンライン開催

(5) 庄内AMR等対策ネットワーク コアメンバー会議について（岡田理事）

8月7日(木) 18:00 オンライン開催

(6) 県医産業医委員会について（鈴木理事）

8月21日(木) 18:30 県医師会館／オンライン開催

(7) 職員の退職について（三浦理事）

(8) 令和7年度4月～6月期 収支計算報告について（各担当理事）

(9) 令和7年7月期事業会計収入実績について（参考）

(10) その他

- ・納涼ビアパーティーについて（福原会長）

- ・庄内地域医療情報ネットワーク研究会について（福原会長）

協 議

- (1) 用度委員会小委員会について（三浦理事）
8 月 19 日(火) 14：45 会議室
- (2) 職員の採用および募集人数の変更について（三浦理事）
 - ・職員採用面接試験
8 月 19 日(火) 18：30 会議室
 - ・募集人数の変更
- (3) 第 3 回健診システム選定委員会について（石原副会長）
8 月 20 日(水) 19：00 講堂
- (4) 委員の推薦依頼について（事務局）
- (5) 後援の依頼について（事務局）

令和 7 年度 第 2 回 臨 時 理 事 会

（令和 7 年 9 月 5 日）

出席者 会 長：福原晶子
副 会 長：石原 良 菅原真樹
理 事：武田憲夫 三原一郎 蘆野吉和 本田 学 岡田恒人
須貝孝一 渡邊秀平 中日哲平
監 事：真島英太
事 務 局：土屋清光 五十嵐亜希

報 告

- (1) 会員の退会について（菅原副会長）
8 月 6 日付 B 会員 後藤 真一 先生（荘内病院）

協 議

- (1) 職員の採用について（菅原副会長）
 - ・職員採用面接試験
8 月 28 日(木) 18：30 会議室
- (2) 総務委員会について（菅原副会長）
9 月 3 日(木) 19：00 会議室
- (3) 用度委員会小委員会について（菅原副会長）
9 月 3 日(木) 10：00 会議室
- (4) 山形県地域災害医療コーディネーターの推薦について（事務局）

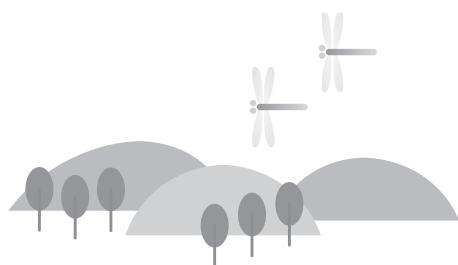
表 紙

「龍神の如く雲は映え、
夏の夕陽が沈む
～明日への架け橋～」

上野 雅仁

夕陽が海に沈んでいく様子はもの悲しくも、空に広がる雲は力強く、そしてどこか神秘的な雰囲気醸し出していました。

撮影場所：由良海岸 PENTAX 645Z



目 次

・表 紙	1
・病院勤務医と医師会会員との懇談会	2
・鶴岡地区医師会勉強会抄録	4
・第 31 回 医師会納涼ビアパーティー	5
・YBC ラジオ「ドクターアドバイスで きょうも元気」ラジオ出演体験記	7
・Introduction 研修医	9
・医師会ニューフェイス	10
・7・8 月行事表	10
・理事会報告	11
・編集後記	14

編 集 後 記

今年は猛暑で35℃以上の日も多く、30℃くらいだと何だかホッとする、という変な感覚麻痺に陥ってしまいました……。どうやら10月まで厳しい残暑が持続するとのことですので、体調管理には気をつけていきましょう。

さて、熊目撃騒動が全国あちこちで起こっています。そしてこの山形県も同様であり、数件負傷者が出ております。ゴルフ場以外で山に近づくことはほぼないため、正直自分の生活圏は大丈夫だろう、と思っておりましたが、とうとう自宅近所でも目撃情報が出てしまいました。

どうやら熊の種類は日本に2種類で、北海道のヒグマと本州以南のツキノワグマ。つまり県内で遭遇する熊はツキノワグマということになります。ヒグマの方が攻撃性が高く、力も強いようですが、ツキノワグマも刺激すると向かってきます。遭遇時に絶対してはいけないことは、背を向けて走って逃げることです。恐怖と驚きで逃げたくもなりますが、そのような行動は攻撃性を高めてしまうため、良くないとされています。ですからたとえ立ち小便している時に遭遇しても、慌てずに小便しながら後退するしかありません。あとは、1人で行動しない、生ゴミの管理、山間部では鈴や笛、撃退スプレーなどの携帯を意識したいものです。ゴルファーはティーショットが曲がっても、無駄に山中のボールは探しに行かず、すぐにOB宣言しましょう（スコアより命）。

まずは皆様が熊に遭遇しないことを願います。

（中目 哲平）

編集委員：菅原真樹・吉田 宏・阿部周市・三井卓弥・真島英太・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町 1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております [鶴岡地区医師会](https://www.tsuruoka-med.jp)  URL <https://www.tsuruoka-med.jp>

印刷所：富士印刷株式会社 鶴岡市美咲町 27-1 TEL 22-0936 (代)